

「関西総合物流活性化モデル認定事業」について

経緯:

国際物流戦略チームでは、関西の物流の発展を目的としたビジネスモデルの認定事業として、関西国際空港については2009年度より「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」を、阪神港については2013年度より「阪神港利用促進プロジェクト」を推進してきた。

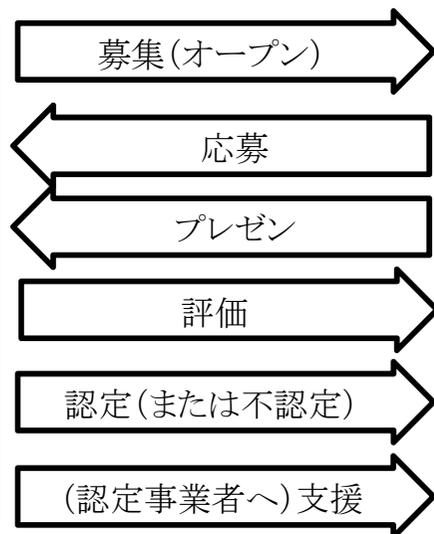
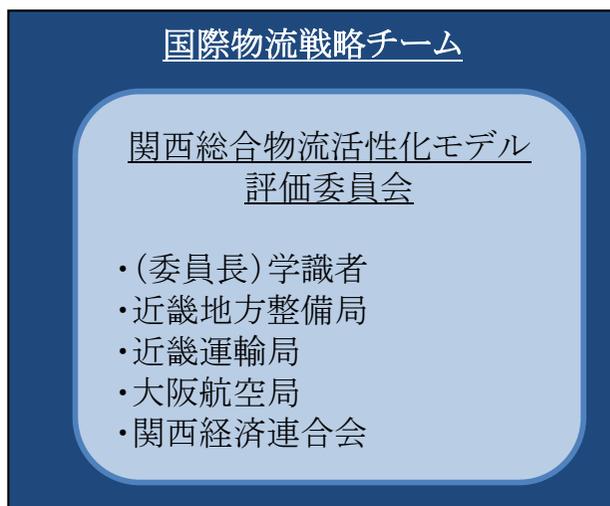
今般、関西の物流の更なる発展に向けて、関西国際空港や阪神港に限らない関西の物流全般を対象とするビジネスモデル認定事業として発展的に両プロジェクトを統合、新たに「関西総合物流活性化モデル認定事業」を創設することとする。

目的:

関西の陸・海・空、全般を対象とし、事業者が行っている物流サービスの中で効果が高いもの（環境面も含む）を認定し、事業推進の支援を通じて、関西の総合物流の発展を推進する。

新規モデルのみならず、既存の優れた取り組みについても掘り起こし、周知を図る。

【認定までの流れ】



【評価基準】

- ・ 関西の物流促進効果がみこめるか
- ・ 独自性が高い、あるいは先進的な取り組みか
- ・ 事業遂行能力があり、継続性が見込まれるか
- ・ 事業の実施体制が適切か

【事業者への支援方法】

- ・ 国際物流戦略チームのホームページにおいて認定モデルを紹介
- ・ 物流セミナーでのプレゼンテーション機会の提供、認定モデルのパンフレット作成・配布
- ・ 国際物流戦略チーム構成員による広報協力
- ・ 認定事業者が作成する営業媒体等へのモデル認定事業の表記

【オブザーバー】

※必要に応じて

など